

SEVRES : 300 CREATIVE YEARS
PORCELAIN FOR THE FRENCH COURT

セーヴル

創造の300年



Sevres
CITÉ DE CÉRAMIQUE

フランス
宮廷の磁器

2018年10月6日[土] - 12月16日[日]

【休館日】毎週月曜日(ただし10月8日(月祝)開館、翌9日(火)休館) 【開館時間】10:00~19:00(展示室入場は閉館の30分前まで)

【観覧料】一般1,200(1,000)円、大高生・70歳以上800(600)円 中学生以下無料 * ()内は前売および当日に限り20名以上の団体料金 * 障害者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料
【前売券】8月17日(金)から10月5日(金)まで販売 取扱場所: 静岡市美術館、チケットぴあ[Pコード:769-238]、ローソンチケット[Lコード:43106]、セブンチケット[セブコード:067-222]、
谷島屋(マークイズ静岡店、パルシェ店、高松店、流通通り店)、戸田書店静岡本店、MARUZEN&ジュンク堂書店新静岡店、中日新聞販売店(一部店舗除く)

【主催】静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社 【企画】セーヴル陶磁都市

【後援】静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、静岡日仏協会 【協賛】大日本印刷 【協力】日本航空、日本通運

※ワグネル「エペール」1757年 セーヴル陶磁都市歴史 Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cité de la céramique) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



静岡市美術館 <JR静岡駅北口より徒歩3分 夜7時まで開館>

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
TEL:054-273-1515 www.shizubi.jp

毎週末・土曜は
トークフリーデー!



日仏交際150周年
150^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises
1858
2018

テレビ静岡開局50周年記念

【プレスリリースのお問合せ】 展覧会担当：吉田・太田 広報担当：岡田・大庭

静岡市美術館

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F

Aoi Tower 3F, 17-1, Koyamachi, Aoi-ku, Shizuoka, 420-0852 JAPAN

tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp

テレビ静岡開局 50 周年記念

フランス宮廷の磁器

セーヴル、創造の 300 年

Sèvres

CITÉ DE CÉRAMIQUE

Sèvres: 300 Creative years Porcelain for the French Court

会期:2018 年 10 月 6 日(土)~12 月 16 日(日) 62 日

休館日/毎週月曜日(ただし 10 月 8 日(月祝)開館、翌 9 日(火)休館)

開館時間 10:00~19:00(展示室入場は閉館の 30 分前まで)

観覧料 一般 1,200(1,000)円、大高生・70 歳以上 800(600)円

中学生以下無料

* ()内は前売および当日に限り 20 名以上の団体料金

* 障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則 1 名は無料

●毎週木曜・土曜はトークフリーデー!

* 前売券:8 月 17 日(金)から 10 月 5 日(金)まで販売

主催:静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡、中日新聞東海本社

企画:セーヴル陶磁都市

後援:静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、静岡日仏

協会 協賛:大日本印刷 協力:日本航空、日本通運

ヨーロッパ磁器の最高峰の一つ、セーヴル磁器は、フランス国王ルイ 15 世 (1710-74) の庇護を受け、1740 年、パリ東端のヴァンセンヌに誕生した軟質磁器製作所が、西端のセーヴルへ移転して王立磁器製作所となったことに始まります。1769 年には硬質磁器の開発に成功し、宮廷の画家や彫刻家が招かれて、ポンパドゥール侯爵夫人やルイ 16 世とその王妃マリー・アントワネットに納められたほか、外交上の贈答品としてロシア皇帝エカテリーナ 2 世らの王侯貴族を魅了しました。フランス革命を経てナポレオンが台頭すると、セーヴルは新古典主義の作品を製作し、19 世紀半ばからの万国博覧会の時代にはテーブル・ウェアという範疇にとどまらない作品へ展開します。芸術家やデザイナーとのコラボレーションも盛んで、20 世紀初頭には、セーヴル初の外国人協力芸術家として工芸家・彫刻家の沼田一雅 (1873-1954) が、現代ではピエール・スーラージュや草間彌生などが招かれて製作に携わっているのです。本展は今なお最先端の磁器芸術であるセーヴル磁器の 300 年に及ぶ伝統と創造の軌跡を、セーヴル陶磁都市の優品約 130 件で紹介する日本初の大規模展です。最終会場の静岡で、ぜひご堪能ください。

【みどころ】

・ポンパドゥール侯爵夫人や王妃マリー・アントワネットなどヨーロッパの王侯貴族たちを魅了した名器の数々！全国巡回の最終会場！

・完成までに多くの時間と手間を要するため、大量生産されることはない、セーヴル磁器の希少な名品約 130 件が一堂に会する日本初の大規模展！

・20 世紀初頭には、初めて外国人協力芸術家として工芸家・彫刻家の沼田一雅^{ぬまたいちが} (1873-1954)が招聘されます。セーヴルと日本の知られざる交流を紹介！

・マリー・アントワネットから草間彌生まで！

セーヴル磁器製作所の 300 年に及ぶ伝統と創造の軌跡！！

必見！今なお斬新で、気品あふれるセーヴルの超絶技巧！！

第1章:18 世紀のセーヴル

ヨーロッパで磁器への憧れが大いに高まったのは、18 世紀です。セーヴル磁器の活動は 1740 年にパリ東端のヴァンセンヌに生まれた軟質磁器工房がその始まりです。強大な権力を誇る国王ルイ 15 世の庇護を受けて、パリとヴェルサイユの間に位置するセーヴルへと移転した製作所は、王立の磁器製作所となり 1769 年には硬質磁器の開発に成功します。宮廷に愛された画家や彫刻家が招かれて知的で洗練された作品を生み出し、ルイ 16 世とその王妃マリー・アントワネットに納めたほか、外交上の贈り物としても用いられ、ロシア皇帝エカテリーナ 2 世をはじめとした王侯貴族を魅了しました。



「リボンのデジュネ」、通称「パーヴェル・ペトロヴィチのキャバレ」1772-1773 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique) / Droits reserves / distributed by AMF



「ジョウロ」装飾：アントワーヌ・カトン (1749-1798 年セーヴルに絵付け師として在職) 1755 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



「皿(「ロシア皇帝エカテリーナ 2 世のカメオとイニシャルのセルヴィス」より)」シャルル＝ニコラ・ドダン (1734-1803) 1778 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF

第2章:19 世紀のセーヴル

フランス革命の混乱を経てナポレオンが台頭すると、セーヴルは新古典主義の作品を製作します。19 世紀半ばからの万国博覧会の時代にはテーブル・ウェアという範疇にとどまらない作品へ展開しました。絵画的で、確かな写実性を備えた描写力からは時の流行のみならず、技術の高さがうかがえます。



壺「テリクレアン」器形：ジャン＝シャルル＝フランソワ・ルロワ（1774-1846）／装飾：ピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ（1759-1840）1842 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © Sevres, Cite de la ceramique, Dist. RMN-Grand Palais / Gerard Jonca / distributed by AMF



「デザート皿《貝》（「自然の産物のセルヴィス」より）」ジャン＝フランソワ＝アンリ・フィリピヌ（1771-1840）1835 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



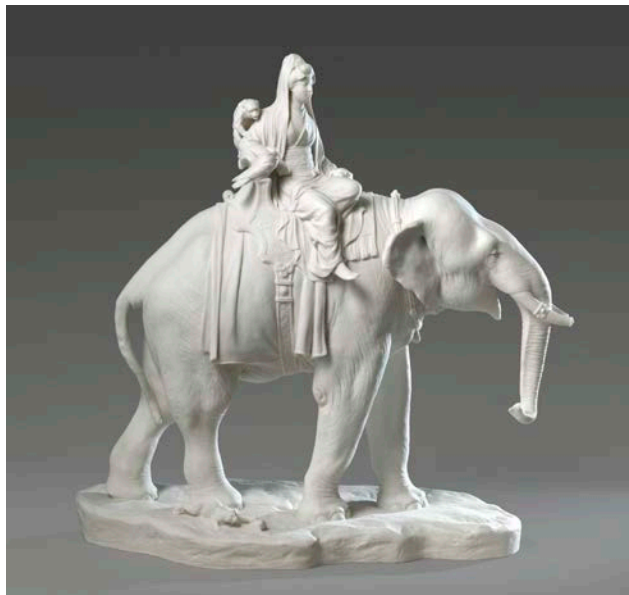
「ペールの薄手のコーヒーセット《ノルマンディーの風景》」器形：ジュール＝コンスタン＝ジャン＝パティスト・ペール（1811-1871）／装飾：ポリクレス・ラングロワ（1814-1872）1855 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique) / Martine Beck-Coppola / distributed by AMF

第3章:20 世紀のセーヴル

デザイナーとのコラボレーションがはじまり、アール・ヌーヴォー、アール・デコの時代は特に、磁器の透光性や軽量性を活かして、照明器具の制作にも取り組みました。日本との交流では、20 世紀初頭に外国人作家として初めて、**沼田一雅**（1873～1954）が型の製作に携わります。沼田は陶磁器彫刻に新境地をひらき、後に東京美術学校教授、帝展審査員も務めました。東京美術学校名誉教授正木直彦の胸像は沼田の彫刻の代表作です。



「ダンサー No. 13」(テーブルセンターピース「スカーフダンス」より)
アガトン・レオナルド (1841-1923) 1899-1900 年 セーヴル陶磁都市
所蔵 Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique)
/ Martine Beck-Coppola / distributed by AMF



「象とねずみ」 沼田一雅 (1873-1954) 1906 年
セーヴル陶磁都市所蔵
Photo © RMN-Grand Palais (Sevres, Cite de la ceramique)
/ Martine Beck-Coppola / distributed by AMF

第4章:現代のセーヴル

伝統的なテーブル・ウェアの製作と併せて、現代作家とのコラボレーションも積極的に行われています。例えば抽象絵画のセルジュ・ポリアコフ、アレクサンダー・カルダー、ピエール・アレシンスキーなど、彫刻では、2000 年にフランス共和国大統領の依頼で日本の大相撲の優勝賜杯の一つとして制作された「スーラージュの壺」を作ったピエール・スーラージュや、日本の造形作家・**草間彌生**の「ゴールデン・スピリット」があげられます。セーヴルの伝統と創造、今なお新しい理由はここにあるといえるでしょう。

「ゴールデン・スピリット」 草間彌生 (1929-)
2005 年 セーヴル陶磁都市所蔵
Photo (C) Sèvres, Cité de la céramique, Dist.
RMN-Grand Palais / Gérard Jonca / distributed by AMF



「セーヴル陶磁都市」について



2010年に国立セーヴル磁器製作所と国立セーヴル陶磁美術館が統合され、フランス文化通信省管轄の施設「セーヴル陶磁都市」ができました。この母体の一つで1824年に設立した「国立セーヴル磁器美術館」は5000点近いセーヴル磁器を所蔵しており、本展出品作は「国立セーヴル磁器美術館」以来の品が中心となっています。

【関連事業】

* 講演会「セーヴルって？—セーヴルがしてきたこと、今していること—」

「スーラージュの壺」の修理に携わった気鋭の修復家を招いて、セーヴルのかしこい技を紹介。

日時：11月10日（土）14：00—15：30（開場 13：30）

講師：北野珠子氏（東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 准教授）

会場：当館多目的室 参加料：無料 定員：70名（応募多数の場合は抽選）

申込締切：10月25日（木）必着

◎申込方法 当館HP申込フォーム(www.shizubi.jp)または往復はがきにて。1件につき4名様まで。

※往復はがき記載事項 ①催事名、催事日 ②氏名（参加人数分） ③年齢 ④住所（郵便番号から）

⑤電話番号、返信面に宛先を記入の上、静岡市美術館まで。（抽選の如何にかかわらず結果は通知。）

* しずびチビッコプログラム

日時：11月24日（土）

① 10：30—12：00 ② 14：00—15：30

対象：2歳以上の未就学児 各回10名

参加料：500円（保護者は要覧覧会観覧）

会場：当館ワークショップ室

申込締切：11月8日（木）必着

※申込方法、詳細は当館HPをご覧ください。

【3連休特典！】

▶10月6日（土）～8日（月祝）

▶11月23日（金祝）～25日（日）

に展覧会を有料でご観覧の方、各日先着50名様に、ニナス「マリーアントワネット ティー」（ティーバッグ一杯分）をプレゼント！



静岡 室内楽フェスティバル2018

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

* ミュージアム・コンサート 気軽にモーツァルト

日時：10月14日（日）15：00—16：00（開場14：30）

会場：当館多目的室 全自由1000円 定員70名

チケット取り扱い：7月29日（日）より当館受付窓口、静岡音楽館 AOI インフォメーション（7F）にて販売
Tel. 054 - 251 - 2200（月休）

【イベント】

ヨーロッパ風 貴族令嬢 ドレスで変身フォト！

日時：10月13日（土）

10：00～17：00

（16：30最終受付）

*詳細は当館HPをご覧ください